

保護者アンケート結果（坂下中学校）

少子化により子どもの数が減少する中、市では、子どもたちにとってより良い教育環境を整備するため、通学区域の変更や学校の統合などにより、小中学校の適正な規模の確保に努めるように検討を進めています。

検討にあたり保護者の方を対象にアンケートを実施しましたので、集計結果をご報告します。



◆アンケート概要

実施期間	令和7年5月19日（月）から6月6日（金）まで
対象者	坂下中学校に通っている生徒の保護者
実施手法	学校から保護者への連絡システム 「Home&School」から回答
生徒数	354人
Home&School 通知数	366人
回答数	158人
回答率	43.2%

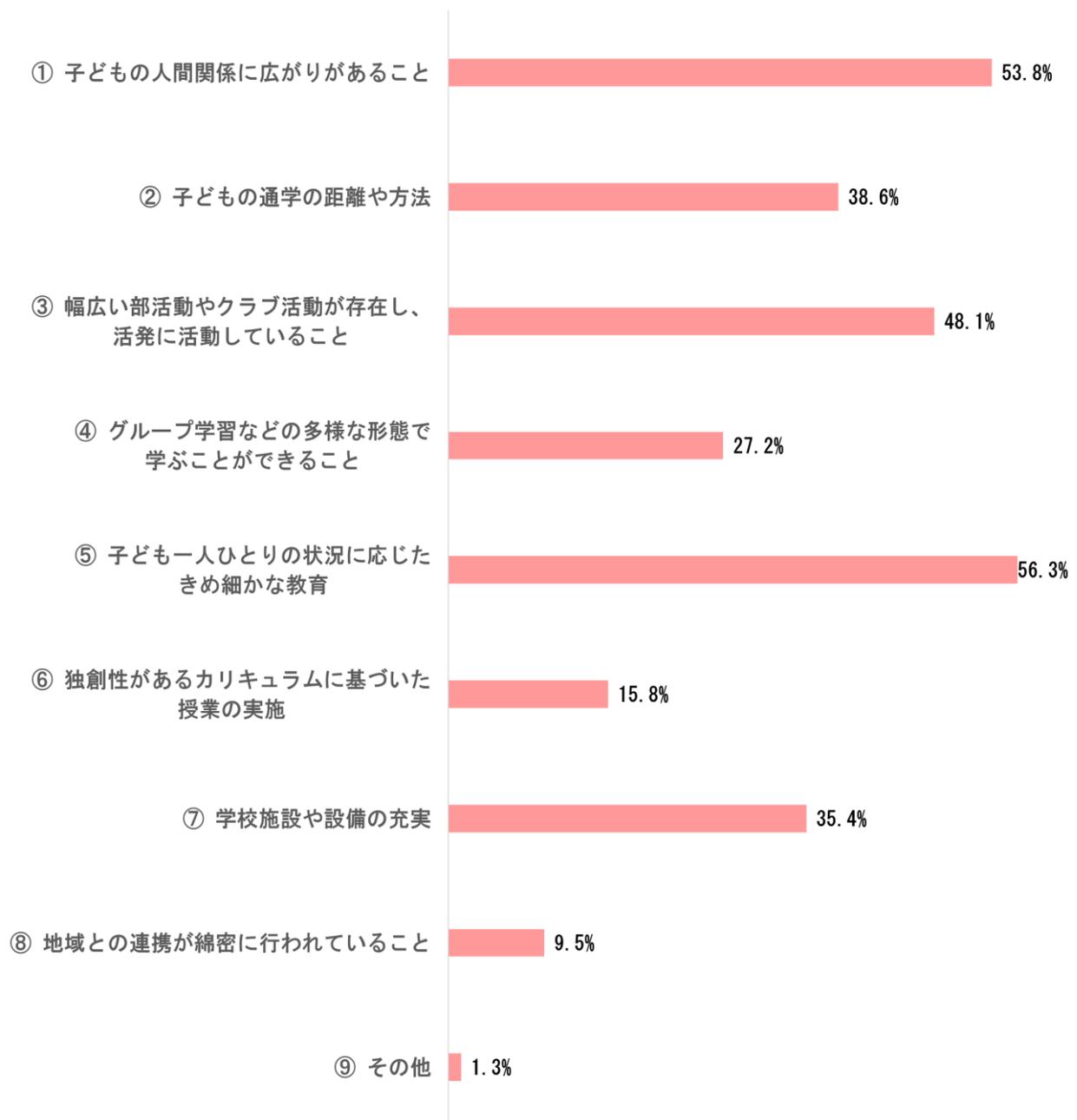
子どもたちにとって、魅力ある学校づくりを進めるために重要と思うことについて、次の項目から選択してください。(3 つまで)

●回答結果の概要

選択項目⑤、①、③の順に多く選ばれています。

回答した保護者の多くが、生徒たちに個別最適な学習が提供されること、学校生活での人間関係が充実していること、授業以外でも生徒たちが活発に活動する場があることを学校に期待しています。

保護者アンケート結果（対象 17 校の集計）と比較すると、③の割合が高くなっています。



1 「⑨ その他」の回答

- ・学習要項の統一化、平等に学習の機会を得られるよう中間テスト・休み明けテストなど学校ごとの差をなくして欲しい。
- ・子どもたちが子どもたちで考え、選び、楽しい行きたいと思う学校づくり。

2

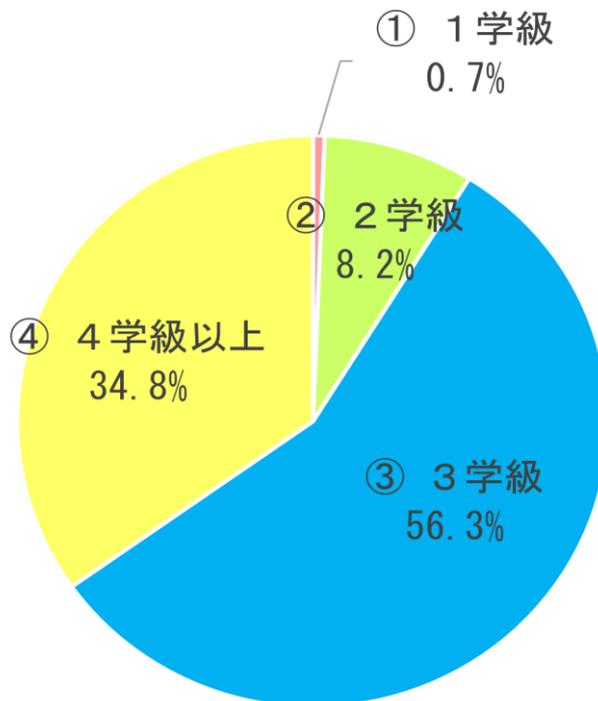
1学年当たりの学級数は何学級が望ましいと思いますか。次の項目から選択してください。(1つ)

●回答結果の概要

坂下中学校は、現在、1年生が4学級、2年生及び3年生が3学級です。

回答した保護者の多くが、3学級以上を望ましいと考えており、「①1学級」を選んだ方は1パーセント以下となっています。

保護者アンケート結果（対象17校の集計）と比較すると、②の割合が低く、③と④の割合が高くなっています。



各学年の学級数が多い学校の「よい」と感じることにについて、次の項目から選択してください。
(3つまで)

●回答結果の概要

選択項目の②、⑤、①の順で選ばれており、回答した保護者の多くは、1学年あたりの学級数が多いことが、子どもたちの人間関係に好影響を与えるとともに、多くの同級生と関わることで社会性やコミュニケーション能力を身に付けることができると考えています。

保護者アンケート結果（対象17校の集計）と比較すると、④の割合が高くなっています。



3 「⑫ その他」の回答

- ・教員1人に対する生徒数を少なくすることで教員の目が届く教育に期待するため。

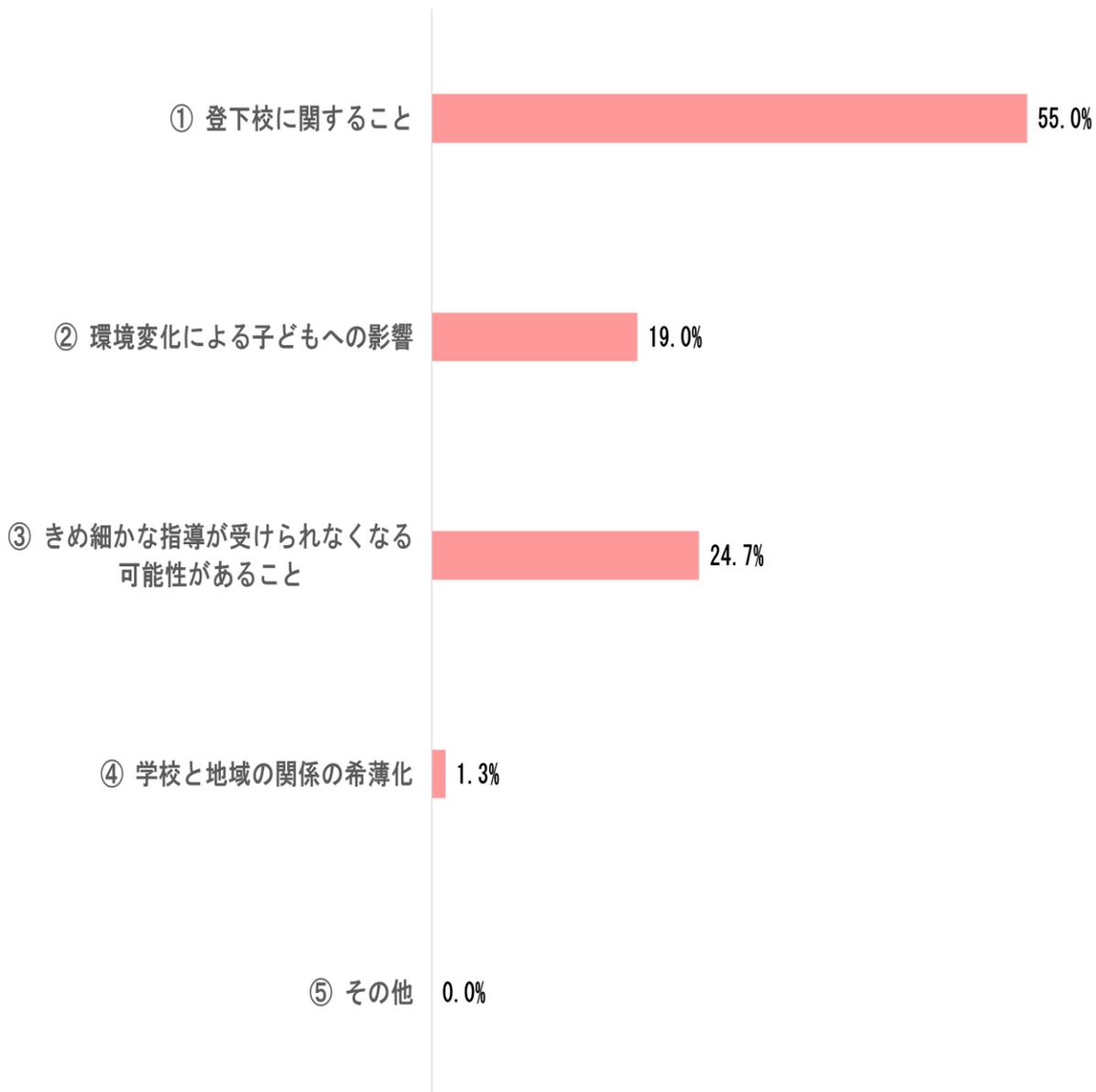
4

魅力ある学校づくりのために、学校の規模や配置を見直す場合、心配なことについて次の項目から選択してください。(1つ)

●回答結果の概要

学校の規模や配置を見直す場合、通学路の変更や通学距離の延長の可能性が考えられることから、55%の方が「① 登下校に関すること」を心配と感じています。

保護者アンケート結果（対象17校の集計）と概ね同様の傾向となっています。

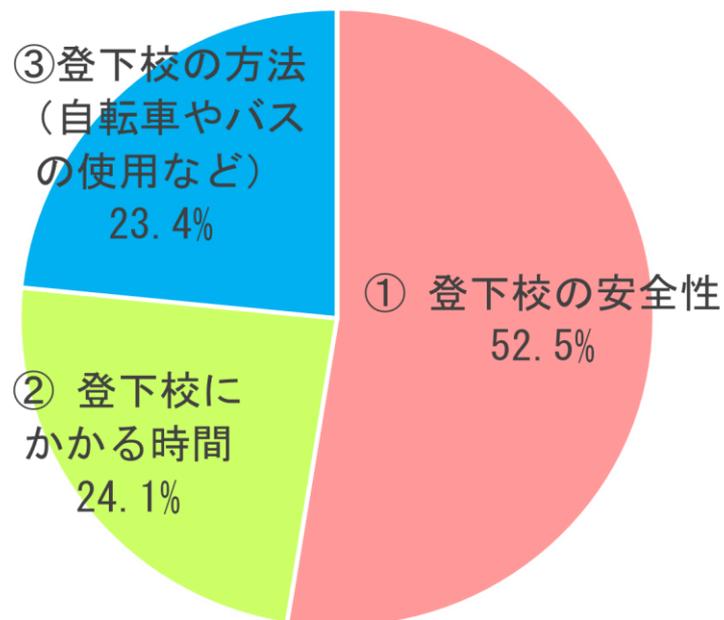


学校の規模や配置を見直す場合、登下校に関して最も重要だと思うことについて次の項目から選択してください。(1つ)

●回答結果の概要

52.5%の方が「① 登下校の安全性」を最も重要と考えています。「④ その他」を選んだ方はいません。

保護者アンケート結果（対象 17 校の集計）と比較して、③の割合が高くなっており、学校区が広いことが要因として考えられます。



市は小中学校ともに1学年に2学級以上あることが必要と考えています。この考えに基づき、市内の小中学校が適正な規模や配置となるように取り組むことについて、どう思いますか。(1つ)

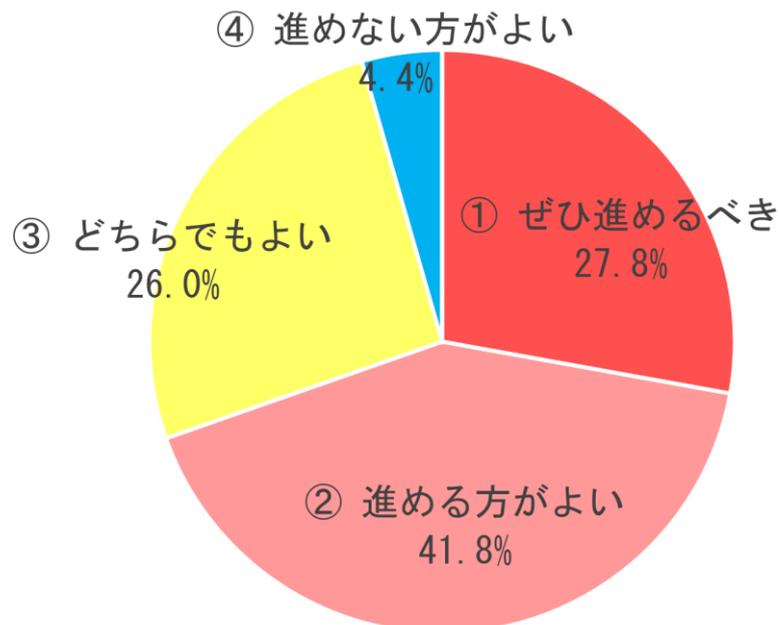
●回答結果の概要

69.6%の方が「① ぜひ進めるべき」又は「② 進める方がよい」と考えています。

①又は②を選んだ割合は、アンケート対象の小中学校 17校の中で2番目に高く、また中学校5校の中でも2番目に高くなっています。

「④ 進めないほうがよい」と考える方は 4.4%で、「⑤ 進めるべきではない」を選んだ方はいません。

保護者アンケート結果（対象 17校の集計）と比較すると、①と②の合計の割合は高くなっています。



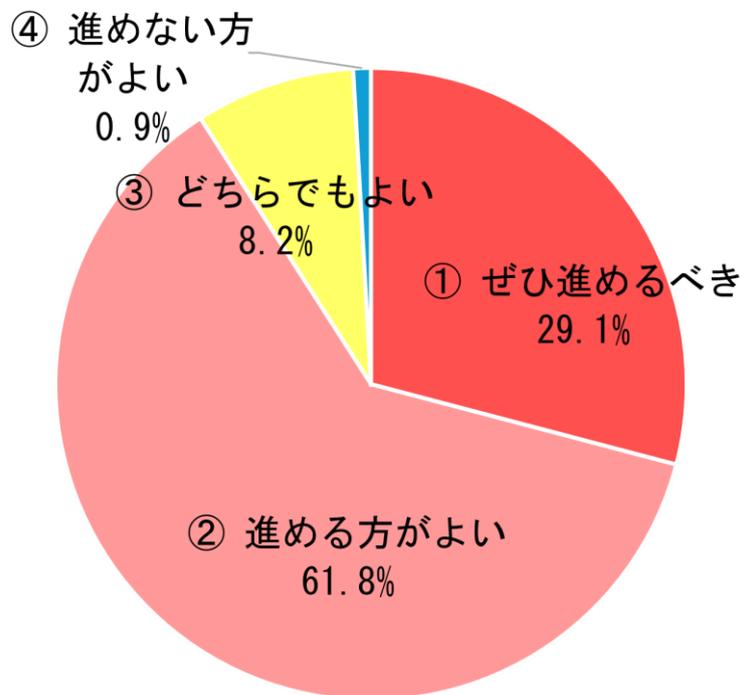
6の質問で「① ぜひ進めるべき」と「② 進める方がよい」と答えた方にお聞きします。坂下中学校が適正な規模や配置となるように取り組むことについてどう思いますか。(1つ)

●回答結果の概要

6の質問で①又は②を選んだ方の90.9%が、「坂下中学校においても学校の適正規模や配置について取り組むこと」に賛成しています。

「④ 進めない方がよい」と考えている方は1人で、「⑤ 進めるべきではない」を選んだ方はいません。

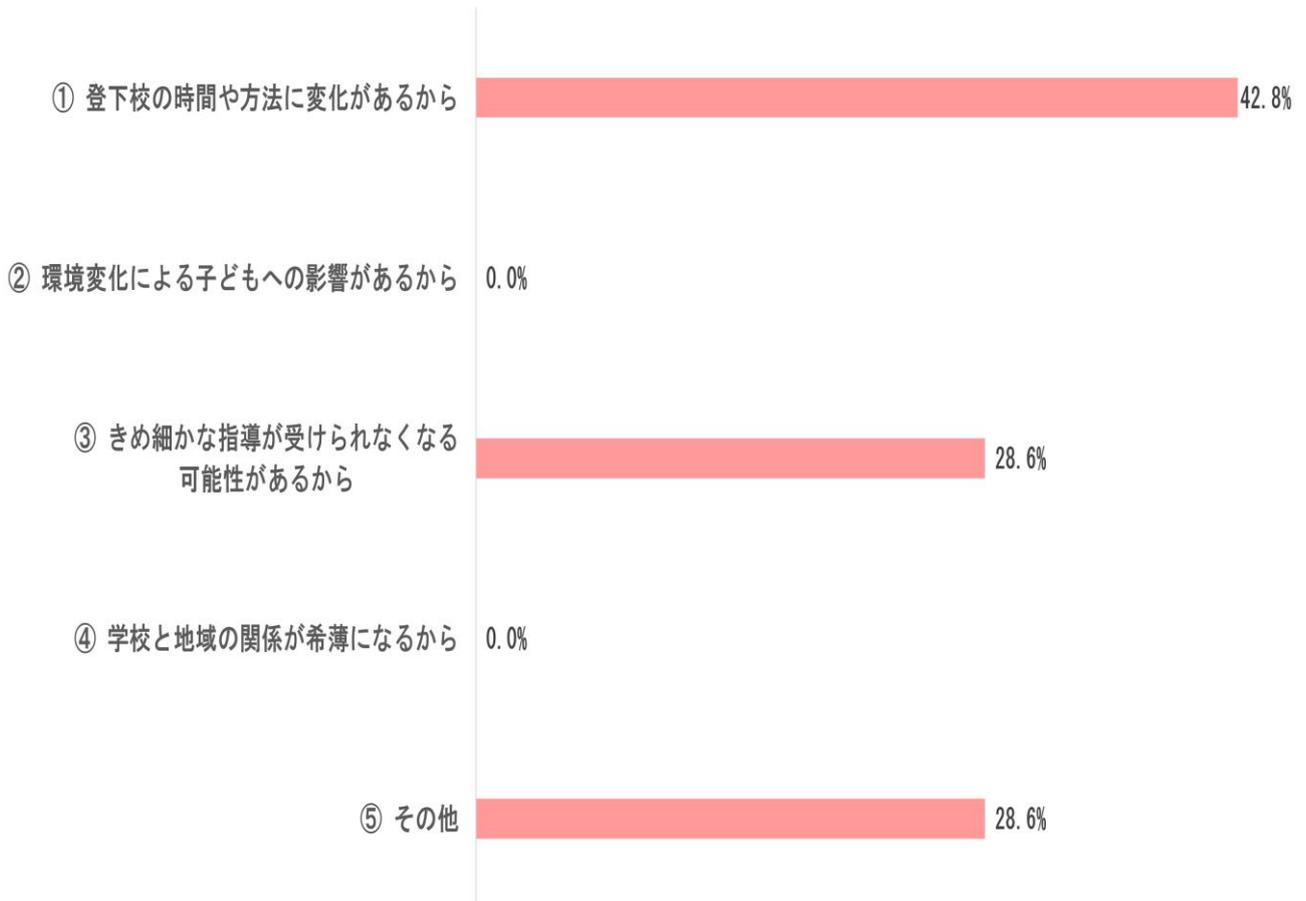
6の質問で春日井市全体としての考え方には賛成するものの、本質問では「③ どちらでもよい」を8.2%の人が、「④ 進めない方がよい」を0.9%の人が選択していることから、全体の回答者のうち、坂下中について取り組むことに賛成する方の割合は63.3%となります。



6の質問で「④ 進めない方がよい」と「⑤ 進めるべきではない」と答えた方にお聞きします。
その理由として最も当てはまるものを選択してください。(1つ)

●回答結果の概要

6の質問で④又は⑤を選んだ7人のうち、3人の方が「① 登下校の時間や方法に変化があるから」を選択し、最も多くなっています。



「⑤ その他」の回答

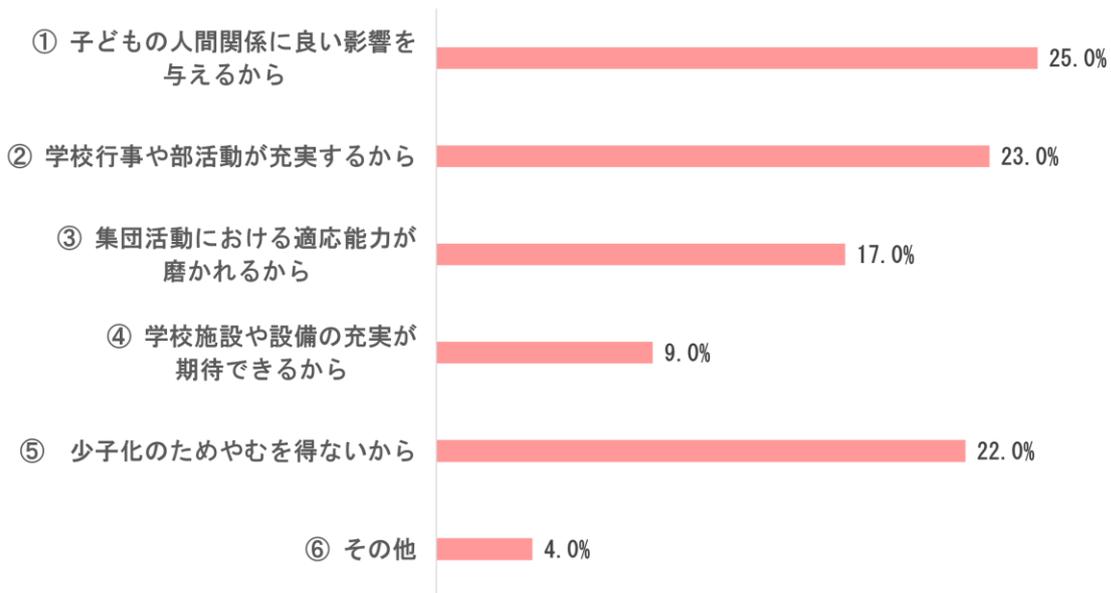
- ・その地域の過疎化が増す。
- ・少人数であっても子どもが学ぶ環境に多い学校と変わりが無いと思うから。

7-1の質問で「① ぜひ進めるべき」と「② 進める方がよい」と答えた方にお聞きします。その理由として最も当てはまるものを選択してください。(1つ)

●回答結果の概要

選択項目の①、②、⑤の順で選ばれています。

保護者アンケート結果（対象 17 校の集計）と比較すると、①の割合は低くなっています。



「⑥ その他」の回答

- ・学級数が少なければ、どちらかと言えば閉鎖的な社会で、噂は広まりやすく、一度ついた印象は、生徒にしろ、教師にしろ、卒業するまでなかなか変わらない。また、その空間が苦痛でも逃げ場がない。母数が多ければ、多少なりともそういったことが緩和されるかなと思うから。
- ・進めることは良いと思いますが、複式学級なども選択肢に残しながら、進めていくのが良いと思います。また、小学校を統合すると、通学時間の心配があるので、中学校を解体して、小中一貫校を作る方が良いのではないかと思います。不要になった中学校には、公立の学びの多様化の学校の整備をするのが、よいと思います。
- ・仲間との繋がりを持って学ぶことがいいと思われませんが、ズームでできることもあるので、無理に進めなくても良いかもしれません。登下校の安全性、学校教育設備、繋がりとできた感をバランスよく考えていただきたいです。人口減少は止まらないので新しく設備を作るなら学校だけじゃもったいないと思います。

7-1の質問で「④ 進めない方がよい」と「⑤ 進めるべきではない」と答えた方にお聞きします。その理由として最も当てはまるものを選択してください。(1つ)

●回答結果の概要

7-1の質問で「④ 進めない方がよい」と考えている方は1名で、「① 登下校の時間や方法に変化があるから」と考えています。

これからの学校教育や学校施設に期待することについて、次の項目から選択してください。(3つまで)

●回答結果の概要

選択項目の⑦、⑤、①の順で選ばれています。

回答した保護者の多くが、快適に学校生活を送るための設備の充実、個別学習や特色ある授業に柔軟に対応できるスペース、ICTを活用した教育の推進を期待しています。

保護者アンケート結果（対象17校の集計）と比較すると、⑥の割合が低くなっています。



9 「⑪ その他」の回答

- ・各個人が自分の個性を大切にしながら輝ける場。子どもの人権が尊重される学校。
- ・子供たちに幅広くいろんなことを経験させてほしい。必ずしもお金をかけなくとも出来ることは沢山ある。
- ・支援が必要な子どももそうでない特別な支援や配慮が必要のない子どものどちらも(全ての子ども)が尊重される教育の場であるといいなと思っています。
- ・同じ公立中学校でも学力の差や学習に対する力の入れ方に差があるの感じます。坂下中学は試験校としてテストの回数を減らしているそうですが学力の低下や志望校への合格率低下が問題だという話をよく耳にしますし、肯定的な意見はまず聞きません。子供たちにとってテスト範囲が広がることで負担が増え、知識の定着を妨げており、保護者側も今後がとても心配だという声をよく耳にします。中学生は3年間後高校受験があり、将来に向けて学ぶ短くも大切な3年間です。同じ公立中学なのに学習の機会、定着の機会が奪われており不公平感を感じます。学力の低下が見られているのになぜ続けるのかが疑問で納得できません。なぜ試験を続けているのか、どのような結果がでているのか保護者には何も知らされていません。テストが全てではないかもしれませんが学生のベースとなるのはやはり学力を付けることなのではないでしょうか。自分の子供が坂下中学校の生徒だったらと、自分事として考えてくださらないのでしょうか。本件とは話がずれてしまっているかもしれませんが、学習に対する取り組みの改善、定期テストの復活を強く希望します。

アンケートの結果は以上です。

アンケートの結果をもとに、より良い教育環境の実現に向け、保護者や地域、関係者の皆様とともに議論を積み重ねていきたいと考えています。

今後ともご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。



問い合わせ先

春日井市教育委員会 学校教育課

電話番号：0568-85-6149 FAX：0568-85-0991

Eメール：gakko@city.kasugai.lg.jp